

e news SEaweEDS No. 7

日本海藻協会ニュース

2008年10月15日

I. 協会事務局から

1. 2008年度総会開催

10月10日、学士会館（東京 神田）で総会が開催され、2008年度の事業経過報告と会計中間報告が行われたほか、専門委員の年間の手当を1人当たり20,000円とすること、シンポジウム講師の謝礼（交通費を含む）を関東地区からの講師には30,000円、その他の地区からの講師には50,000円とすること（ただし東京での開催の場合）などが決まりました。

2. シンポジウムの開催

今後のシンポジウムや講演会について、テーマ、講師、開催地などについて会員からの要望を募ります。提案を事務局宛に積極的にお寄せください。

II. 海藻関連ニュース

1. 食品開発展 2008

食品の機能性と安全性情報を一堂に集めた「食品開発展 2008」が2008年10月15-17日に東京ビッグサイト（東京都江東区有明）で開催されます。申込み・問合せは 〒101-0044 東京都千代田区鍛冶町 1-8-3 CMPジャパン(株)内 食品開発展事務局（Tel. 03-5296-1017 FAX 03-5296-1018 E-mail f-expo@cmpjapan.com www.hijapan.info / www.stecjapan.info）へ。

2. 第8回アジア太平洋マリンバイオテクノロジー会議

第8回アジア太平洋マリンバイオテクノロジー会議（The 8th Asia-Pacific Marine Biotechnology Conference (APMBC)）が2008年11月12日-15日に韓国・釜山の BEXCO で開催されます。

3. 第47回農林水産祭「実りのフェスティバル」

農林水産省/財日本農林漁業振興会主催の第47回農林水産祭「実りのフェスティバル」が11月14・15日に東京ビッグサイト（東京都江東区有明）で開催されます。入場無料。問合せ先：〒101-0046 東京都千代田区神田多町2-9-6（田中ビル）財日本農林漁業振興会（Tel. 03-3256-1791, <http://www.affskk.jp>）

4. 2008年度藻類談話会

2008年度藻類談話会が2008年11月22日（土）13:00-17:00に京都大学大学院人間・環境学研究科棟B23大講義室（京都市左京区吉田二本松町）で開催されます。参加費は500円です。談話会終了後に懇親会（会費：一般3,000円、学生1,500円）が予定されています。講演予定等を知りたい方は<http://biotech.nikkeibp.co.jp/100hpn/index.jsp>から「バイオ・基礎医学関係者の皆のホームページ」→「学会・研究会」の項目を選んで下さい。

参加申込み・問合せ先：〒606-8501 京都市左京区吉田二本松町 京都大学大学院人間・環境学研究科 幡野恭子（Tel: 075-753-6854, Fax: 075-753-6694, e-mail: kyokohat@bioh.mbox.media.kyoto-u.ac.jp）

5. 国際藻類会議2008

国際藻類会議2008（International Algae Congress 2008）が2008年12月3・4日にアムステルダムのHet West-Indisch Huisで開催されます。ワーゲニンゲン大学の藻類学者 Dr. Ir. Aalt Dijkhuizen を委員長とする会議で、藻類産業の近年の発展に力点が置かれており、科学、生産/加工、応用に関する6つのセッションでオランダ、ドイツ、フィンランド、イタリア、イスラエル、その他の国々からの発表が予定されています。また、同時開催の交易会（Trade Show）も予定されています。（www.algaecongress.com, tdeboer@agriprojects.com 参照）

6. 第9回国際藻類学会議

第9回国際藻類学会議（The 9th International Phycological Congress, IPC9）が2009年8月2-8日に東京代々木のオリンピック記念青少年総合センターで開催されます。経済的支援申請の締切日は2008年12月1日、ワークショップ申込み締切日は2009年2月1日、早期参加登録及び発表要旨提出の締切日は2009年3月31日、参加登録・宿泊・エクスカーション等の取消し期限は2009年5月15日です。

会議事務局：G.education Co., Ltd., Ginza 1-15-2, Chuo-ku, Tokyo

Tel. 03-3563-2890, Fax. 03-3563-2892, ipc9@ec-inc.co.jp

詳細は<http://www.ec-japan.jp/ipc9/index.html> をご覧下さい。

III. カレンダー

- 2008.10.15 - 17. 食品開発展 2008 (東京ビッグサイト)
- 2008.11.10 - 14. 第 5 回アジア太平洋藻類学フォーラム (ニュージーランド・ウェリントン) [→Nos.1-4]
- 2008.11.12 - 15. 第 8 回アジア太平洋マリンバイオテクノロジー会議 (韓国・釜山)
- 2008.11.14-15. 第 47 回農林水産祭「実りのフェスティバル」(東京ビッグサイト)
- 2008.11.22. 2008 年度藻類談話会 (京都 京大大学院人間・環境学研究科棟 B23 大講義室)
- 2008.12.3-4. 国際藻類会議 2008 (オランダ・アムステルダム)
- 2009.3. 日本藻類学会第 33 回大会 (那覇 琉球大)
- 2009.8.2 - 8. 第 9 回国際藻類学会議 (東京 オリンピック記念青年総合センター)

IV. 新刊図書案内

1. 松橋鐵治郎 (2008): 寒天・ところてん読本. 農山漁村文化協会. 213pp.
定価 (本体 1.850 円+税)

V. 海藻 Q & A

Q10— 「髮菜 (はっさい)」は海藻ですか？

A— 中国の青海省、陝西省、内モンゴル自治区などの半砂漠地の乾燥した土壌表面に生育し、毛髪状の小さな固まりを形成している藍藻 (シアノバクテリア) の一種です。1 本 1 本の藻糸は独立しており、細胞が念珠状に 1 列に連なったものが薄い寒天質に包まれています。乾燥した裸地または疎らに生える小ブッシュの根元の地表に殆んど乾燥したような状態で生育しています。空气中(霧)から水分を摂るかまたは稀に降る雨から水分を摂り、非常に長期間乾燥状態で生きていることが出来ます。水中で生活する藻類ではなく、「陸生藻」(または「地表藻」と呼ぶのがふさわしい藻類です。恐らく、大昔は海中で生活していたものが造山活動に伴っ

